

古書販売目録について

1. 古書販売目録とは

古書販売目録は、古書店が古書を通信販売するためのカタログで、顧客や大学などに送ったものです。その販売する古書の一点一点について、タイトルや著者などの情報に、本の内容や解説、販売価格を記し、ものによっては写真も付け、その店の分類方法に応じて順次配列したリストが、基本的な古書販売目録です。発行される古書目録の中で扱われている商品は、一般古書から和本、洋書、錦絵など幅広いジャンルに渡っています。

古書販売目録はもともと一時的な利用を目的とした商品販売カタログであるため、長期間保存されることは少ないものです。しかし過去の古書販売目録からは、古書の流通と変動、値段の変遷などを知ることができ、またその時々の中古物の流通の手がかりを得ることができます。まさに、わが国で流通した和漢洋古書の記録として、貴重なものなのです。

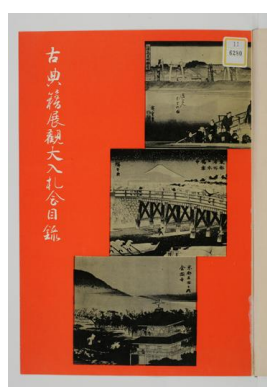
2. 千代田図書館の古書販売目録コレクションとは

千代田図書館が所蔵している古書販売目録コレクションは、古書店「弘文荘」の店主である故・反町茂雄氏が約60年にわたって収集したものです。書店別の販売目録、共同販売目録、蔵書家の文庫に収納されている蔵書の目録など、合計約 7,000 点の古書販売目録などで構成されています。

千代田図書館の古書販売目録コレクションは、書店名・発行年月日などから、インターネットで検索することができます。

古書販売目録検索システム

<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/search/kosho.html>



『古典籍展観大入礼会目録』(1962年)



『弘文荘敬愛書図録』(1982年)